



平成28年1月

第59号

荒川区立南千住第二中学校

(題字;校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



克己

～ あきらめることなく挑戦しよう! ～

校長 齊藤 進



新年明けましておめでとうございます。年始から本校レスキュー部が東京消防出初式に出演するなど生徒が活躍するスタートとなりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、箱根駅伝は選手にとって夢の舞台です。もしあなたが箱根駅伝の出場有力選手だとします。ところが、体調が思わしくなくなかなか回復しません。駅伝が近づいてきたある日、監督から「体調はどうか。箱根は出られるか。」と聞かれたとします。その時、あなたはどのように答えますか。

1月2日、3日に第92回箱根駅伝が行われました。し烈なシード権争い、タスキを渡す直前の非情な繰り上げスタート、倒れそうになりながら必死にタスキを渡そうとする姿など今年も感動のドラマが繰り広げられました。日本体育大学以来39年ぶりの完全総合優勝を勝ち取ったのは青山学院大学でした。アオガクOBとしては感慨無量です。アオガクはなぜ強いのか。『魔法をかける』(青山学院大学陸上部 原晋監督著)を読むとその謎が解けます。原監督は安定したサラリーマン生活と決別し、結果が出なければ将来の生活保障もない監督に挑戦しました。5年で箱根に出場し10年後に優勝というビジョンを大学に示しましたが、優勝どころか箱根出場も叶わず、周囲からは監督失格のらく印を押されてしまいます。それでもあきらめず、もう一度チャンスを下さいと大学に必死に頼みます。

さて、冒頭の監督からの選手への問いかけは実際に原監督がある選手に行ったものです。その選手は「箱根に出場することが目標なら自分を出してください、優勝を目指すのなら自分を外してください。」と答えたそうです。そうしたことを言わしめる選手を育て上げたところが原監督の素晴らしさだと感じました。こうした選手がいるチームは強いはずです。

駅伝選手と受験に向かう3年生の姿が重なります。今、3年生は不安な気持ちを抱えながら懸命に目標に向かってがんばっています。そんな3年生に克己(こっき)「おのれに打ち勝つ」という心をもってほしいと思います。駅伝選手は仲間にタスキをつなごうとして、各区間を一人の力で走り抜かなくてはなりません。誰の力も借りることなく孤独と戦い、弱気な自分と戦いながら走ります。3年生は目標に向かう駅伝選手なのかも知れません。心の中で3年生に応援の旗を振り続けたいと思います。

『風が強く吹いている』(三浦しをん著 新潮文庫)。私の推薦図書です。ぜひご一読を。

箱根駅伝を走りたい 「駅伝」って何? 走るってどういうことなんだ? 10人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指してタスキを繋ぐことで、仲間とつながっていく……風を感じて、走れ! 「速く」ではなく「強く」 純度100パーセントの疾走青春小説。

東京消防出初式にレスキュー部が参加

傷病者搬送の訓練演技



新年明けてまもなくの1月6日(水)、レスキュー部が東京ビッグサイトで行われた東京消防庁の「出初式」に参加しました。一般人、特に中学生が参加するのは大変名誉なことです。南千住二中レスキュー部は昨年、消防総監賞を受賞しました。その功績もあり、今回の参加が決まりました。8名という参加人数制限があり、この日参加したのは、希望した部員の中から抽選等で選ばれたスーパーレスキュー部員の8名、そしてPTA会長さん、

校長先生、他に先生2名でした。

堂々と行進



8名の参加者は「都民演技隊」として式に参加。女子4名は消防隊員とともに災害時に傷病者を救助・誘導する演技を、男子4名は多くの消防関係者や消防団の木遣りの方々が見守る中、行進に加わりました。出初め式のように防災アイドルグループなどの出演とともにNHKで生中継されていましたが、突然の臨時ニュースのため途中で中断されてしまいました。少し残念でしたが、その日深夜に再放送されました。参加した8名の堂々とした演技、行進は立派でした。演技の後是一般の方も参加できる体験コーナーや最新の防災機器などの見学をさせていただき、消防隊員の方々からもていねいに説明をいただきました。改めて防災意識を高める貴重な体験でした。

体験コーナーで



〈出初め式に参加したスーパーレスキュー部員〉

- 3年1組男子1名、女子1名、3年2組男子1名
- 2年2組女子1名
- 1年2組女子2名、1年3組男子2名



南千住二中の参加者

セーフティ教室

1月16日(土)授業公開日の3校時、セーフティ教室が行われました。今回のテーマは「ネット利用」です。急速に発達しているインターネットを安全に利用することを学習しました。当初、全校生徒、参観された保護者の方々がアリーナ(体育館)に集まり実施する予定でしたが、南千住二中でもインフルエンザ流行の兆しが認められ、大事をとって各教室で行うことにしました。

南千住警察の方にご来校いただき、ネット利用に際し、「不正請求」、「メールいじめ」などのトラブル、「個人情報の流出」などの被害者そして加害者にならないための学習を進めました。スマートフォンなどで手軽に利用できる大変便利で有用なインターネット。それを利用するための正しい知識に加え、何よりも大切なのは利用する人の「責任」であることを学びました。南千住警察の方々、ありがとうございました。

たこあげ大会ボランティア

1月10日(日)、毎年正月に恒例になっている南千住地区委員会「新春たこあげ大会」が荒川スポーツセンター大体育室と野球場を会場に行われ、今年も南千住二中からボランティア20人が参加しました。

参加者は会場の案内や小学生以下の子どものたこ作りの手伝い、そしてたこ揚げの補助など、大活躍でした。この日会場を訪れたのは子どもたちとその保護者の皆さんを合わせ333人。来場者、南千住地区委員会の方々からも大変感謝されました。

ボランティア参加者の皆さん、お疲れ様でした。

《たこあげ大会ボランティア参加者》

【2年生】

- 1組 女子 2名
- 2組 女子 1名
- 3組 女子 2名

【1年生】

- 1組 女子 3名
- 2組 男子 1名、女子 5名
- 3組 男子 4名、女子 2名



たこ作りのお手伝い



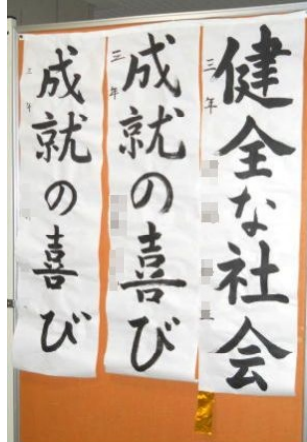
最後は自分たちもたこ揚げを楽しむ(!?)

校内書き初め展・作品展示会

1月12日(火)から南千住二中では「校内書き初め展」および「作品展示会」を行っています。書き初めは冬休みの宿題として全校生徒が取り組み、全員の作品が各学年のフロアに展示されています。どの作品も力作ぞろいで、金・銀・銅賞も出そろいました(最終ページに掲載)。また、作品展では、霜月祭で展示された一部のものに加え、それ以降に各学年や教科で取り組んだ1年生の「地域学習壁新聞」などの作品が展示されています。書き初め展は1月22日(金)、作品展示会は1月29日(金)まで行われます(期間終了後もしばらく展示予定です)。保護者、地域の皆さまも是非この機会にご参観ください。

なお、これらの作品の中で特に優れたものは、1月29日(金)から2月2日(火)まで町屋文化センターで行われる「荒川区立中学校連合作品展示会」に出展されます。区内全公立中学校の優秀作品が一堂に会します。こちらも是非ご参観ください。日時、出品者等、詳しいことは後日改めてお知らせいたします。

力作ぞろいの「書き初め」



霜月祭以後の作品も展示(1年生 地域学習新聞)

部活動等の活躍

《バレーボール部》 荒川区1年生大会 **準優勝**

《サッカー部》 荒川区民大会中学生の部 **第3位**

《社会科》 荒川区「税の作文」コンクール **優秀賞** 3年2組女子

《国語科》 「明日のT O K Y O作文」コンクール **優秀賞** 3年3組女子

校内書き初め展受賞者

【金賞】 3年生 2組女子2名、3組女子1名

2年生 3組女子1名

1年生 1組女子1名

【銀賞】 3年生 1組女子1名 2年生 3組女子1名 1年生 該当者なし

【銅賞】 3年生 3組男子1名

2年生 1組女子2名、3組女子1名

1年生 1組男子2名、女子1名、2組女子1名、3組女子1名

<お詫びと訂正>

前号で「税の作文」入賞者に漏れがありました。お詫びして訂正(追加掲載)させていただきます。大変申し訳ありませんでした。

南千住マイスターのコーナー

毎日、多くの人が利用する南千住駅。南千住駅は、JR常磐線、営団地下鉄日比谷線、つくばエクスプレス(エクスプレス)線の3駅が営業しています。その中で最も歴史が古いのがJR常磐線です。常磐線南千住駅は1896(明治29)年、当時の日本鉄道(株)の駅として開業します。

この路線は田端(宮城県)と土浦間(土浦線)を主に常磐炭田から産出される石炭輸送を目的に作られました。その後1898(明治31)年、日本鉄道は田端(宮城県)間を全線開通させました。このときは、現在の山手線を経由して東海道線に通じるよう、田端駅が起点でした。南千住駅からは「隅田川貨物駅」につながる支線が分岐しており、重要な役割ももっていました。起点が田端だったため、上野発着の列車は田端駅でスイッチバック(進行方向を変える)方式で運行していました。1905(明治38)年、三河島(日暮里)間が開通し、田端駅でのスイッチバック運行が解消し、上野に直接乗り入れられるようになりました。

三河島から日暮里にかけて路線が不自然にカーブしているのはこのためです。翌1906(明治39)年には日本鉄道が国有化され、さらに1949(昭和24)年には日本国有鉄道(国鉄)が発足し隅田川駅とともに国鉄の駅になりました。

1962(昭和37)年には不幸な事故も起こっています。南千住(三河島)間で起こった「三河島事故」です。脱線した貨物列車に乗客を乗せた電車が衝突、乗客が避難し、線路上を移動していたところに別の電車が進入して跳ね、160人が亡くなり、296人がケガをするという大惨事でした。

1987(昭和62)年には、国鉄民営化によりJR東日本の駅になりました。2015(平成27)年3月には上野東京ラインが開業して品川まで乗り入れるようになり、ますます便利になりました。2014(平成26)年のJR南千住駅の1日の平均乗降客は15,902人(1日)のぼります。常磐線は、東京と常磐・東北地方を結ぶ大動脈としての役割を担っています。

南千住の交通と産業 その8

「南千住駅」①JR常磐線



南千住駅
常磐線特急「ときわ」

撮影；1年3組男子